

事業報告

2023.....訪問看護認定看護師による
在宅ケア・在宅看取り活動の推進
事業報告書

はじめに

会員の皆様、いつも本会の活動にご尽力いただきまして、本当に感謝いたします。

2023年4月。日本訪問看護認定看護師協議会は、法人第10期を迎えました。

さかのぼること2009年8月。私たちの協議会は、当時、全国各地で個々に活躍していた訪問看護認定看護師約100名の先輩方が、訪問看護認定看護師のネットワーク構築と、仲間と共に訪問看護認定看護師としての質の向上を目指すことの必要性を感じて日本訪問看護認定看護師協議会を設立したのが始まりです。そして、2014年10月、さらなる活動の充実を目指し、一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会として法人化されました。

それから約10年、本会は訪問看護、在宅ケア認定看護師登録者数の約半数が入会する大所帯となり、今年12月には、一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会の法人第10期記念交流会を、東京で開催することができました。協議会の立ち上げから今日に至るまで携わった方々には、多大なご尽力を賜りましたこと、改めて有難うございますという感謝の気持ちで一杯であります。

さて、2024年の元旦に能登半島地震があり、今まで当たり前にあった日常が一瞬で壊されるという、自然災害には太刀打ちできない人間の無力さを痛感する事態が起きました。その中でも、仲間の活動を心配し続ける本会の会員たちでLINEグループを作成し、情報共有をいたしました。私たちの協議会で何ができるか？を探りながら、今日までいます。被災地支援に入った会員から、様々ないのちに向き合う看護を提供していることを報告いただき、その姿勢や視点に、やっぱり訪問看護、在宅ケア認定看護師だなと再認識いたしております。

我が国は、これから多死社会に入ります。そして、当たり前前に暮らしてきた地域の中で、最期まで過ごしたいと言う団塊の世代が後期高齢者に入ります。私たちは、在宅療養を支えるために訪問看護認定看護師、在宅ケア認定看護師として役割を果たし、リーダーシップを発揮するこの時代に生きています。そのため、私たちはチャレンジし続けることを忘れないで前進していきたいです。

これからも当たり前前に看取りができる訪問看護師を育成しながら、そして、子供から高齢者まで選ぶことなく、目の前にあるいのちに向き合い続けることを誓いながら、日本訪問看護認定看護師協議会は今後も発展し続けます。

最後に、日本財団様におかれましては多大なるご支援をいただきましたこと、心より感謝いたします。

2024年3月吉日

一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会
代表理事 大橋 奈美

－ 目 次 －

はじめに

第1章 事業の概要	1
1 事業の目的	
2 事業の目標	
3 事業のスケジュール	
第2章 事業の活動報告	7
1 ブロック活動	
(1) 北海道ブロック	
(2) 東北ブロック	
(3) 北関東ブロック	
(4) 関東ブロック	
(5) 南関東ブロック	
(6) 東海北陸ブロック	
(7) 近畿ブロック	
(8) 中四国ブロック	
(9) 九州ブロック	
2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023	
3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動	
4 訪問看護ステーションのBCP作成支援	
5 報酬改定に向けた活動	
第3章 事業の評価	45
1 ブロック活動	
2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023	
3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動	
4 訪問看護ステーションのBCP作成支援	
5 報酬改定に向けた活動	
別添資料	51
1 会員数及び9ブロック図	
2 組織について	
3 理事会の開催	
4 会員活動調査集計結果（一部抜粋）	
訪問看護認定看護師数・在宅ケア認定看護師数（日本看護協会 認定部資料）	

第1章 事業の概要

- 1 事業の目的
- 2 事業の目標
- 3 事業のスケジュール

1. 事業の目的

平成4年の老人訪問看護制度発足以降、在宅での医療ニーズは拡大し、0歳から100歳超への様々な年代、難病、精神疾患、先天性疾患など多様な支援が必要となった。

現在の日本の医療政策では、急性期が過ぎて症状が安定した患者は在宅療養生活への移行を推進しているため、更なる拡大が予測される。患者や家族が自宅に戻った場合、介護保険制度等の利用も促進されているが、患者本人や家族が担う役割も多い。しかし、利用者の高齢化、独居世帯の増加などから患者本人や家族が担いきれない状況もある。また、地域の在宅医療資源や質の格差が生じ対応できず、施設での生活も、望まない施設での生活を余儀なくされている現状がある。

このような背景から、以下のとおり目標を設定した。

中長期目的 ※3年後

- ブロック活動を通じて個々の質向上を図り、地域で基幹的な役割を担うことができる
- 地域に旬な情報発信を行い、地域の訪問看護師や事業所の質向上を図り格差を是正できる
- 地域住民へ在宅療養に関する情報発信を行い、地域全体で住民生活の支援ができる
- 2025年度で会員数571名を目指す

最終目的

多くの人が「住みなれた場所・地域」で心豊かに生活が継続でき、人生最期の時まで自身の望んだ場所で過ごすことができる社会を目指す。そのために医療・看護・介護従事者、住民、自治体が連携し在宅看取りも選択できる社会となることを目的とする。

2. 事業の目標

(1) 自己研鑽活動

① ブロック活動支援

〔内容〕全国9ブロックごとに訪問看護及び在宅ケア認定看護師の自己研鑽を目的とした活動の実施

〔目標〕活動実施報告書作成・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

② 総会及び同時開催研修会・交流会

〔内容〕協議会会員が一堂に会する場を年2回設ける

〔目標〕全会員を対象とした研修会、交流会の実施・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

(2) 地域貢献・社会活動

① 訪問看護事業所の運営改善相談活動・多機能化サポート活動

〔内容〕非会員を含む訪問看護従事者を対象とした、訪問看護ステーション運営等に関するミニ講座と座談会の実施

〔目標〕参加者20名・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

② 訪問看護ステーションのBCP作成支援

〔内容〕非会員を含む訪問看護従事者を対象とした、訪問看護ステーションのBCP作成支援の実施

〔目標〕参加事業所3か所・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

③ 報酬改定に向けた活動

〔内容〕前年度取りまとめを行った意見書の再調整・関係省庁へ提出。次回提言するテーマの検討

〔目標〕関係各所へ提出

(3) 組織・広報力の強化

① 組織・広報力の強化

〔内容〕ホームページやFacebookによる情報発信。事業報告書の制作・配布。理事会を年3回、理事ブロック長合同会議を年2回実施する。入会促進PRを行う

〔目標〕ホームページでの活動報告書の公開。事業報告書及び協議会パンフレットの制作。2023年度訪問看護及び在宅ケア認定看護師合格者の8割入会

以上の活動によって、訪問看護認定看護師及び在宅ケア認定看護師の社会的意義を高め、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる人材となり、結果、地域住民がその人らしく最期まで暮らせる社会の構築に寄与する。

3. 事業スケジュール

本事業は、以下のスケジュールで行った

	月	日	内容	ブロック	開催方法
2023	4	11	ブロック会議	関東	Zoom
		15	ブロック会議	北関東	Zoom
		22	ブロック会議	北関東	Zoom
		25	第1回運営委員会	BCP支援	Zoom
	5	10	ブロック会議	東海北陸	Zoom
		13	第1回理事会	—	Zoom
		19	ブロック会議	九州	Zoom
		20	交流会・ブロック会議	南関東	Zoom
		23	第2回運営委員会	BCP支援	Zoom
		29	ブロック会議	北関東	Zoom

2023	6	10	第10期定時総会	—	Zoom
			2023年度 総会同時開催研修会	—	Zoom
		14	要望書提出	報酬改定	—
		20	ブロック会議	関東	Zoom
		21	ブロック活動支援担当者ミーティング	—	Zoom
		27	ブロック会議	北関東	Zoom
			第3回運営委員会	BCP支援	Zoom
	7	8	第1回ブロック長会議	—	Zoom
		12	ブロック会議	東海北陸	Zoom
		23	ブロック会議	北海道	Zoom
		25	第4回運営委員会	BCP支援	Zoom
		26	ブロック会議	南関東	Zoom
	8	5	研修会・ブロック会議	東北	Zoom
			ブロック会議・交流会	南関東	Zoom
		9	交流会	中四国	Zoom
		12	ブロック会議	北関東	Zoom
		19	交流会・会議	北関東	Zoom
		22	第5回運営委員会	BCP支援	Zoom
		26	第2回ブロック長会議	—	Zoom
		27	研修会・ブロック会議	近畿	ハートピア京都 (ハイブリッド開催)
			ブロック会議	九州	Zoom
		30	第1回運営会議	ミニ講座	Zoom
	9	2	第2回理事会	—	Zoom
		6	ブロック会議	九州	Zoom
		9	研修会	中四国	Zoom
		13	Zoomリハーサル	東海北陸	Zoom
			ブロック会議	九州	Zoom
		14	ブロック会議	南関東	Zoom
		16	研修会	関東	Zoom
			地域向け研修会①	中四国	Zoom
		23	ブロック会議	北海道	Zoom
		25	ブロック会議	九州	Zoom
		26	第6回運営委員会	BCP支援	Zoom
		29	ブロック会議	南関東	Zoom

2023	9	30	研修会・ブロック会議	南関東	Zoom	
			研修会・ブロック会議	東海北陸	名古屋市熱田区サテライト訪問看護ステーション (ハイブリッド開催)	
	10	14	地域向け研修会②	中四国	Zoom	
		24	第7回運営委員会	BCP 支援	Zoom	
		28	研修会・ブロック会議	東北	Zoom	
		30	第2回運営会議	ミニ講座	Zoom	
	11	1	臨時理事会	—	Zoom	
		12	ブロック会議	九州	Zoom	
		15	ブロック会議	東海北陸	Zoom	
		18	ミニ講座&座談会 第3回運営会議	ミニ講座	Zoom	
		25	ブロック会議・交流会	南関東	Zoom	
		27	第1回事前打ち合わせ	BCP 支援	Zoom	
		28	第1回 BCP 作成支援	BCP 支援	Zoom	
		29	ブロック会議	南関東	Zoom	
	12	2	Zoom リハーサル	北関東	Zoom	
		9	法人第10期記念交流会 2023	—	AP 東京八重洲 (ハイブリッド開催)	
		10	Zoom リハーサル・ブロック会議	北関東	Zoom	
		13	Zoom リハーサル・ブロック会議	北関東	Zoom	
		14	第2回事前打ち合わせ	BCP 支援	Zoom	
		16	地域向け研修会・ブロック会議	北関東	Zoom	
		17	第2回 BCP 作成支援	BCP 支援	Zoom	
		21	ブロック会議	近畿	Zoom	
	2024	1	13	研修会	北海道	Zoom
				ブロック会議	南関東	Zoom
			14	ブロック会議	九州	Zoom
			17	Zoom リハーサル	東海北陸	Zoom
			20	ブロック会議	北関東	Zoom
				ブロック会議・研修会	南関東	Zoom
27			ブロック会議	関東	Zoom	
			交流会・ブロック会議	東海北陸	訪問看護ステーション太陽・千種(ハイブリッド開催)	
			研修会・交流会・ブロック会議	九州	ナースプラザ福岡 303 研修室(ハイブリッド開催)	

2024	1	30	第3回事前打ち合わせ	BCP 支援	Zoom
		31	第3回 BCP 作成支援	BCP 支援	Zoom
	2	2	PR 活動	北関東	—
		3	ブロック会議	北関東	Zoom
		17	交流会・ブロック会議	南関東	Zoom
	3	2	第3回理事会（予定）	—	Zoom
			理事・ブロック長合同会議（予定）		

※開催方法についてはその時の状況によるが、オンライン開催を基本とした

※2月22日時点での取りまとめのため、それ以降については予定

第2章 事業の活動報告

- 1 ブロック活動
 - (1) 北海道ブロック
 - (2) 東北ブロック
 - (3) 北関東ブロック
 - (4) 関東ブロック
 - (5) 南関東ブロック
 - (6) 東海北陸ブロック
 - (7) 近畿ブロック
 - (8) 中四国ブロック
 - (9) 九州ブロック
- 2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023
- 3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動
- 4 訪問看護ステーションのBCP作成支援
- 5 報酬改定に向けた活動

1. ブロック活動

- 1) 北海道ブロック (ブロック長：高橋亜希子氏)
正会員数 9名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 7月23日(日)	ブロック会議	<ul style="list-style-type: none">近況報告、情報交換今年度の研修会の検討	6名
9月23日(土)	ブロック会議	<ul style="list-style-type: none">今年度の研修会の打ち合わせ次年度の研修会について近況報告、情報交換など	5名
2024年 1月13日(土)	研修会	<ul style="list-style-type: none">ブロック研修会 「看護とスピリチュアルケア～ケアする名の心のケア」	6名

(2) 活動を通して

ブロック会議は、広い北海道の各地にいる会員各々と情報交換ができ、活動や近況を知ることができる、とても有意義な場であり、会員同士が唯一、顔が見える貴重な場となっている。

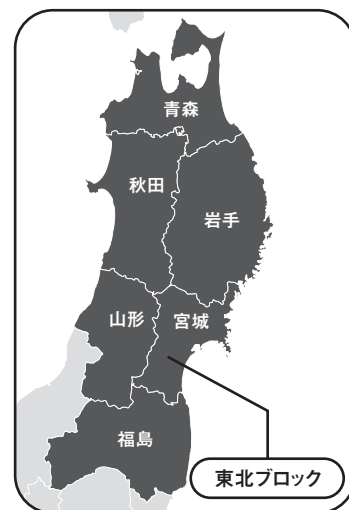
会員が少ないため研修についても希望や意見がまとまりやすく、自分たちの普段の困り事や知りたい事に合った研修会を行うことができた。

研修会ではケアする人の心ケアや己の安定が大切であることを学び、モチベーションアップにつなげることができた。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください。



2) 東北ブロック (ブロック長：平澤利恵子氏)
正会員数 9名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月5日(土)	研修会	宮城県立大学教授の高橋和子先生を講師に迎え、オンラインで「新卒訪問看護師について」のタイトルで研修会を開催した。新卒訪問看護師の傾向や育ち方について学ぶ機会を得た	7名
	ブロック会議	来年度の活動計画を話し合い、10周年記念行事の進捗状況等の報告があった	7名
2024年 1月13日(土)	研修会	8月の研修会の継続という形で「新卒訪問看護師について」の第2弾を開催した。新卒訪問看護師の事を学ぶ機会だったが、結果的には人として、社会人として、訪問看護ステーションで働く仲間の事を思う機会となった	4名
	ブロック会議	研修会後に開催予定だったブロック会議だったが個々に緊急訪問や別件会議等が入ったため、後日ライン等で今後の事を話し合うこととした	4名

(2) 活動を通して

2回に分けて同じテーマの研修会という形をとり、1回目から次会の研修が楽しみと思えるような内容で開催できたことは、講師のお人柄に尽きるのかなと感じている。会員のほとんどが役職についていたり、地域の中心となって活動している事から、どうしても本業の方を優先せざるを得なく、会議にならない状態(人員不足)になるという事態にもなり、今後の活動の仕方も見直していかなければならないとも思える1年であった。

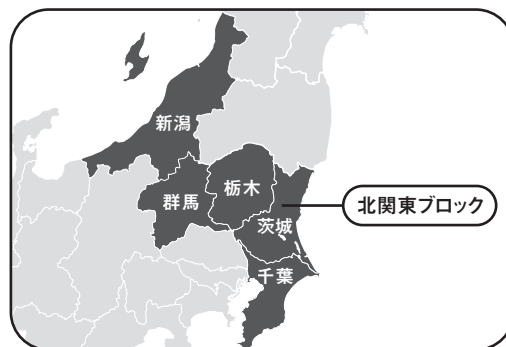
来年は自己研鑽という形の研修会ではなく、できれば地域のためになるような形での研修が企画できれば良いと考えている。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。

QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



3) 北関東ブロック (ブロック長：山橋直子氏)
正会員数 35名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 4月15日(土)	ブロック会議	第1回役員会 ● ブロック会議の事前打ち合わせ	12名
4月22日(土)	ブロック会議	第1回ブロック会議 ● 今年度の活動計画 ● 研修会の運営メンバー募集について	20名
5月29日(月)	ブロック会議	第1回地域向け研修会の運営会議 ● 「おひとり様の在宅看とり」をテーマに企画検討	10名
6月27日(火)	ブロック会議	第2回地域向け研修会の運営会議 ● 研修会の目的や目標についての意見交換	9名
8月12日(土)	ブロック会議	第2回役員会 ● ブロック会議の事前打ち合わせ	9名
8月19日(土)	交流会	認定看護師の活動内容の共有：実践報告より 「ICT（インターネットコミュニケーション）を活用した独居高齢者の在宅看取りを他職種で支えるシステムづくり」	21名
	ブロック会議	第2回ブロック会議 ● 地域向け研修会企画の進捗状況 ● 次年度ブロック活動計画の立案	21名
12月2日(土)	リハーサル	第3回地域向け研修会の運営会議・Zoomリハーサル ● 通しリハーサル	9名
12月10日(日)	リハーサル	第4回地域向け研修会の運営会議・Zoomリハーサル ● 修正箇所の確認作業とZoom操作の練習	5名
12月13日(水)	リハーサル	第5回地域向け研修会の運営会議・Zoomリハーサル ● 最終確認	3名
12月16日(土)	研修会	地域向け研修会 「待ったなし！おひとり様支援！～最期まで暮らすために私達ができること～」	57名

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 12月16日(土)	ブロック会議	第3回ブロック会議 • 研修会の振り返り	11名
2024年 1月20日(土)	ブロック会議	第3回役員会 • 来年度の役員体制 • ブロック会議の事前打ち合わせ	12名
2月2日(金)	PR活動	お誘い活動 新たな訪問看護認定看護師の方へ協議会の案内を郵送	1名
2月3日(土)	ブロック会議	第4回ブロック会議 • 今年度の活動の振り返り • 参加者の近況報告会	16名

(2) 活動を通して

会員の方が活動に参加しやすいブロック！を目標に今年度も活動を行った。毎年「どのような活動をやりたいか」会員の方から広く意見を集めて活動に繋げている。

前期は「他の認定看護師の活動を知って、自身の活動の参考にしたい」という意見から、自己研鑽と会員内の交流を目的に交流会を開催した。実践報告から「ICTを活用した独居高齢者の在宅看取りを他職種で支えるシステムづくり」を発表いただき、活発に意見交換が行えた。

後期には、地域貢献を目的に地域向け研修会を開催した。ここ2年ほど看護師対象の研修会が続いたため、今年度は「多職種同士が専門職としての考え方や視点などお互いを知り、理解を深め合える内容にしたい」と意見がまとまり、おひとり様の在宅看取りをテーマに、看護師の他、介護支援専門員などを対象に研修会を開催し、定員を超える参加者が集まった。研修後の参加者アンケートからは「本当に楽しく元気が出るお話を伺った。ワクワクした!」「とても感銘を受けた研修だった」との声をいただいた。研修会委員からは「運営に携わったことで自地域での研修会の運営に役立った」「準備は大変だったが、やって良かった。学ぶことも多かった」との声も聞かれており、自己研鑽へつながっている。

研修会の準備には、役員以外に研修会委員をもうけているが、運営全般に時間と労力がかかっており、それを分散できるような役割分担やICT活用で効率化をはかることが今後の課題となっている。

ブロック会議や交流会の参加者は年々増えており、活動内容だけでなく、ブロックが組織化できていることも影響していると考えている。

そして、昨年度に引き続き、非会員の訪問看護・在宅ケア認定看護師の方に、北関東ブロックの活動ちらしと挨拶状を郵送しているため、さらに、一緒に活動に参加してくださるお仲間が増えることを期待している。

情報共有や活動を共に行うことで、互いに刺激となり認定看護師としての学びにつながっていると実感できている。今後も参加しやすい、参加したいと思える北関東ブロックを築いていきたい。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



4) 関東ブロック (ブロック長：山田富恵氏)
正会員数 54名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 4月11日(火)	会議	第1回ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> 今年度の活動計画、役割分担、自己紹介 研修内容検討 	7名
6月20日(火)	会議	第2回ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> 研修詳細検討、決定。開催月日、講師。係決定 ニュースレター発行について 	6名
9月16日(土)	研修会	「ケアするためのエネルギーチャージ セルフ・コンパッション」	10名
2024年 1月27日(土)	会議	第3回ブロック会 <ul style="list-style-type: none"> 交流会を活動報告のニュースレターに替える ニュースレター内容検討 	6名

(2) 活動を通して

今期、関東ブロック内の会員の確保と、今必要と思われる知識の研修会の開催と会員同士の交流が盛んになることを目標として活動を行った。ブロック長の交代があり、後任者のパソコン環境不良もあって、連絡の滞りがあり、全体に活動が不十分になったが、オンラインでの会議開催や、ニュースレターでの活動の周知などに努めた。

約3年のコロナ禍を経て、対面研修で交流を深めたかったが、再流行の懸念もあり、ケア提供側の閉塞感や孤独感へ配慮したマインドケアの研修を行った。

来期は、関東ブロック範囲内で集まりやすく交流しやすい工夫として小ブロックに分けるなどを行い、より参加しやすい会員活動につなげたい。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



5) 南関東ブロック (ブロック長: 三橋由佳氏)
正会員数 24名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 5月20日(土)	交流会	第1回『看取りを考える会』 • 設立の経緯 今後の活動の方向性の確認	9名
	会議	第1回ブロック会議・新旧役員顔合わせ • 今年度の計画について確認・検討 • 交流会「看取りを考える会」の詳細検討	6名
7月26日(水)	会議	第2回ブロック会議 • 9月30日研修会の内容決定	5名
8月5日(土)	会議	第3回ブロック会議 • 9月30日の研修会の進捗状況の確認 • 次年度計画予定の検討	4名
	交流会	第2回『看取りを考える会』 • 看取り後のグリーフケア ターミナル期の輸液について などフリートーク	9名
9月14日(木)	会議	第4回ブロック会議 • 9月30日研修会の最終調整 当日のレジюмеなどの確認 • ブロック会議役割分担アンケートの記載内容検討	4名
9月29日(金)	会議	第5回ブロック会議 • Zoom テスト レジюме最終調整	6名
9月30日(土)	研修会	第1回研修会 『在宅看取りにおける ACP・意思決定支援の進め方』 講師: 横浜市立大学准教授 日下部明彦先生	41名
	会議	第6回ブロック会議 • 研修会の反省会 • 第2回研修会1月20日の内容と講師決定 • 11月25日の交流会の内容決定	4名
11月25日(土)	会議	第7回ブロック会議 • 1月20日の研修会の検討 役割分担確認	4名

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 11月25日(土)	交流会	第3回『看取りを考える会』 • 事例検討会	12名
11月29日(水)	会議	第8回ブロック会議 • 1月20日研修会の参加対象者について、準備の役割分担 • 2024年度第1回全体研修会について 内容：コンサルテーションについて 講師：南関東ブロック 伊藤さん	4名
2024年 1月13日(土)	会議	第9回ブロック会議 • 1月20日の当日の流れ検討	4名
1月20日(土)	会議	第10回ブロック会議 • Zoom調整 講師を交えての研修会の流れの確認	4名
	研修会	第2回研修会 『心がざわつくターミナル事例をじっくり多方面から触れてみませんか?』 スーパーバイザー：悠の木訪問看護ステーション 青木悠紀子氏(南関東ブロック)	11名
2月17日(土)	交流会	第4回『看取りを考える会』 • グループホームの看取りについて	9名
	会議	第11回ブロック会議 • 事業報告書の確認 • 次年度の予定や役員の交代について	4名

(2) 活動を通して

2021年度「在宅看取りを实践できる訪問看護師の育成事業」の各ブロック開催実施後、当ブロックでは『看取り』に焦点を当て、交流会をもっと充実したものにし、会員数を増やす布石としたいと、交流会を『看取りを考える会』として活動を開始した。賛同して下さった加入者11名程度で旗揚げし、以後、役割分担しながら進めている。利害関係のない仲間だからこそ、普段職場では解決できない心境なども共有でき、認定としての役割なども深めることにつながった。

『看取り』に関連して、2回の研修会も構築した。1回目は、ACP・意思決定支援を基本から学び直し、伝える側の立場になる自分たちのスキルアップを目的とした。協議会全体に呼びかけ、外部講師に著名な医師をお招きすることができたこともあって、41名という集客がかなっている。医療倫理に深く関係する内容だったため、非常に濃い学びができたアンケートでも結果が得られている。2回目は、看取りの事例検討会を実施し、認定としての活動である「相談」部分のスキルアップを目的とした。事例そのものが非常に練りこまれているものであり、スーパーバイザーに当ブロックのエキスパートをお招きでき、時間がたつのも忘れるほどの濃い検討内容となった。今回、参加募集先を、訪問看護(在宅ケア)認定コースの学生さん方にも拡大したが、ちょうど授業などと重なり参加者が募れなかった。今後も、協議会の活動を知っていただくためにも広報していく必要があると考えた。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



6) 東海北陸ブロック (ブロック長：山端二三子氏)
正会員数 106名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 5月10日(水)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 2023年度の東海北陸ブロック活動内容と役員との役割確認 9月の研修会内容と当日までの行動計画立案 	9名
7月12日(水)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 9月研修会案内チラシ案 役員との役割確認 	8名
9月13日(水)	Zoomリハ	<ul style="list-style-type: none"> 9月30日研修会のZoomリハーサル 当日における役割と進行の最終確認 	11名
9月30日(土)	研修会	「在宅ケアにおける倫理」 ～共同意思決定支援のプロセスを進めよう～ 講師：東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座 会田薫子先生	52名
	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 研修会の振り返りから課題と検討 来年度の活動計画について 1月の交流会内容の検討 	11名
11月15日(水)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 1月27日交流会の進捗状況 	10名
2024年 1月17日(水)	Zoomリハ	<ul style="list-style-type: none"> 1月27日交流会 Zoomリハーサル 当日における役割と進行の最終確認 	8名
1月27日(水)	交流会	1. 認定看護師の5年目更新報告 2. 活動報告 ①これからの看護教育—今どきの学生をどう育てるか ②高齢化率の高い過疎地でのその名らしい最期の支援 ③医療的ケア児支援の実際と課題への取組み ④「在宅における倫理」研修受講後に倫理検討シートを活用した事例検討会をおこなって 3. グループワークで情報・意見交換	32名

開催日	活動項目	概要	参加数
1月27日(土)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> ● 交流会の振り返り ● 来年度の活動計画と研修会のテーマを検討 	10名

(2) 活動を通して

今年度も会員の活動に必要な知識と指導力、実践能力を高めることを目標に研修会と交流会を開催した。研修会は在宅支援で起こり得る倫理的ジレンマに適切に対処できる力を養うことを目的に「在宅における倫理」を開催した。交流会では会員の活動を知り、個々の活動に活かすことを目的に活動報告とグループワークをおこなった。

この1年間の活動成果は研修会や交流会から、参加した会員が共に学びを深め合い、考え合い、そして、刺激し合えたことから自己の課題を明確にし活動に繋げることができた。それは、研修会や交流会のアンケート結果において「大変理解できた、理解できた」が100%であった。感想や意見からは「事業所で取組みたい」「実践したい」「元気をもらえた」「一步を踏み出す勇気と力をもらった」等の多くの声があった。これは、それぞれが活動を知ることや学び得たことが今の活動を振り返る機会となり、自己の課題や取組みに繋げることができたと感じている。来年度は、今年度の研修や交流会で学びを深めた「在宅における倫理」を更に深めたいと考え、訪問看護ステーションに多国籍の療養者が増えていることから、多国籍の療養者支援の研修を検討している。

今後の課題は昨年度と同様の参加率が50%前後であり、参加率を上げるための対策である。今年度の参加率向上に開催時間の変更、他県ブロックの参加、Zoomで開催したが、参加率は変わりなかった。東海北陸ブロック役員は、和やかに楽しく共に学びたい、語り合いたいと研修会や交流会を企画しているが、どのような対策が最善であるかは引き続き検討していきたい。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



7) 近畿ブロック (ブロック長: 團野一美氏)
正会員数 84名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月27日(日)	研修会	実践報告 会近畿ブロックの訪問看護認定看護師の活動状況を知り、今後の自地域での活動に活かす	38名
	会議	近畿ブロック実践報告会についての意見や感想を聞き、今後の研修に活かす	20名
12月21日(木)	会議	今年度の反省と次年度の活動計画について	8名

(2) 活動を通して

昨年好評であった実践報告会を今年度も企画し開催した。実践報告会の目的は、近畿ブロック内の府県代表者である訪問看護認定看護師が実践している活動を発表し、参加者が今後の活動をする上での参考にし、活動へのエネルギーを得てもらうこと、ディスカッションを通して繋がりを得ることとした。

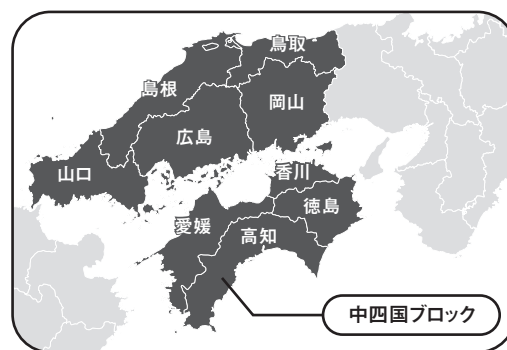
京都府の鎌田智広様より「過去から学ぶ訪問看護の経営」、滋賀県の新山和枝様より「訪問看護ステーションにおける出向事業の関わりと成果～滋賀県の取り組み～」、兵庫県豊倉陸美様より「急性期病院の入退院支援・外来の現状～在宅ケア認定看護師の視点からみた現状の課題～」、大阪府の田端支普様より「訪問看護ステーションでの特定行為の活用」、奈良県の島勝江様より「多職種で行う新型コロナウイルス対策への取り組み～経営管理の視点から～」、和歌山県の矢出装子様より「和歌山における訪問看護の名材育成につなげる活動」について、10～15分ご発表をいただいた。参加者でディスカッションを行った後、佛教大学の清水奈穂美教授から講評をいただいた。

交流会後のアンケート(回答率89%)では、実践報告会について、大変満足できた(79.4%)、満足できた(20.6%)と回答を得た。実践報告会に参加して今後の活動の参考になった(100%)との回答を得た、「みなさんの実践報告にとっても刺激をもらいました」「内容が多様で勉強になりました」「地域差はあるかもしれないが、訪問看護認定看護師としてどのような活動ができるか知ることができた」「実践報告は、今後の参考になるだけでなく、エネルギーも得られる会でした」「皆さんの発表が多方面からあり、重ならなかったのも新鮮さがありました」「それぞれ小さなことをコツコツと積み上げておられることこそ訪問看護認定看護師、在宅認定看護師だと思います」「看看連携をする上で相手の立場を知ることが出来て、良い学びができました。」など多くのご意見をいただき、参加者の今後の活動の参考になる内容であった。実践報告会の目的が達成でき、効果を得たと考えている。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



8) 中四国ブロック (ブロック長：尾崎美智氏)
正会員数 25 名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月9日(水)	交流会	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介と活動報告、地域の状況について共有 今後のブロック活動について意見交換 	11名
9月9日(土)	研修会	「臨床推論を活用した人材育成」	10名
9月16日(土)	研修会	地域向け研修会 「訪問看護認定看護師と一緒に学ぼう！臨床推論を用いた判断力トレーニング 第1回」 地域の新任訪問看護師を対象とした研修会	22名
10月14日(土)	研修会	地域向け研修会 「訪問看護認定看護師と一緒に学ぼう！臨床推論を用いた判断力トレーニング 第2回」	20名

(2) 活動を通して

中四国ブロックでは、昨年度に引き続き「人材育成」をテーマとして活動した。

新しく訪問看護を始めた人達は、一人で訪問し、病気のことだけでなく家で起こる様々な状況を考えて判断しなければならず、迷ったり悩んだりすることが多い。訪問看護認定看護師として、地域で困っている訪問看護師を支援したいと考え、昨年度から地域の新任訪問看護師を対象に「判断力トレーニング」の研修会を開催している。少人数で自由に意見交換ができる場となり、「訪問看護をやりたい」と思って頑張っている人達が、「訪問看護って難しいけど面白い」と思ってもらえる研修会となった。

中四国ブロックの会員はファシリテーターとして参加し、講師と共に新任訪問看護師を支援した。地域の訪問看護師と共に学んだことは、改めて自分達の立ち位置を客観視する貴重な機会になった。訪問看護認定看護師として地域の人々にキラキラと輝く姿を見せられるように自己研鑽を続けなければいけないと感じた。そのためにも、このブロック活動が持続可能なものであり、誰も取りこぼさず支援できる体制作りを考えていきたいと思う。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



9) 九州ブロック (ブロック長: 安部美保氏)

正会員数 18名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 5月19日(金)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 今後ブロック活動について意見交換 役員輩出のルール決め・おしゃべり会開催決定 	5名
8月27日(日)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 2024年1月開催 研修会の企画運営会議 	4名
9月6日(水)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会・交流会の企画詳細の検討 	5名
9月13日(水)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の九州ブロックの年間計画を策定 	5名
9月25日(月)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会のテーマの決定 交流会の詳細を検討 研修会・交流会準備の担当者決定 	5名
11月12日(日)	会議	<ul style="list-style-type: none"> ブロック研修会 交流会の広報についての検討 参加者の目標人数決定 	5名
2024年 1月14日(日)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会・交流会のリハーサルを実施 	4名
1月27日(土)	研修会 ・交流会	<p>メインテーマ: 地域包括ケアシステムの中でのこれからの訪問看護の役割を考える ～仲間を増やし、最期まで豊かな暮らしを支える～ 講師: 聖路加国際大学 山田雅子先生 交流会: 訪問看護認定看護師実践報告会</p> <p>①訪問看護認定看護師としての役割の大切さに気づくまで 医療法名ひらまつ病院 訪問看護ステーション 管理者 堀口奈緒子</p> <p>②訪問看護に新卒者を採用しての経過報告 訪問看護ステーション青空 所長 下地節子</p>	14名
1月27日(土)	会議	<ul style="list-style-type: none"> ブロック研修会・交流会反省会 	5名

(2) 活動を通して

九州ブロックは、ここ数年、会員数の減少・コロナ禍の影響もあってか、活動が衰退気味であった。そんな中、今年度は初回のブロック会議で、再び九州ブロック活動に活気をもたらすためにはどうしたらよいか話し合いを行った。そこで、会員が、何でも気軽に話し合える・相談しあえる場をつくろうという話になった。方法はリモートで、毎月、定期的で開催するという事に決まった。名称は「おしゃべり会」。実際にふたを開けてみると、ほぼ参加者は、ブロック役員ですが、その中に、ちらほらと新しい会員の方が参加してくれるようになった。

今年度のブロック研修会・交流会は、例年より参加者が増えて全国から会員・非会員を含めて35名の方が参加して頂くことができた。終了後のアンケート結果からも大変内容が良かったといった好評をいただくことができた。研修会に山田雅子先生をお呼びしたいと言われた方は、おしゃべり会に新しく入ってきていただいた会員さんである。また、実践報告で新卒新名を3名採用した話をしていただいた沖縄県の下地さんも、おしゃべり会でお話をお聞きして、是非、実践報告会でも話しをしてほしいとのことで講師になっていただいたという経緯がある。そういった意味でも、今年度から始めた「おしゃべり会」は大変意味のあるものだったと思っている。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください

